

- 1 議案名 徳島県子どもの読書活動推進計画〔第四次推進計画〕について

- 2 提案理由 国の「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」〔第四次基本計画〕に基づき、「徳島県子どもの読書活動推進計画〔第三次推進計画〕」期間中の成果と課題を明らかにし、今後、おおむね5年間の子供の読書活動推進の施策の方向性と具体的な取り組みを示すものとして策定するため。

- 3 関係法令 子どもの読書活動の推進に関する法律第9条

「徳島県子どもの読書活動推進計画〔第四次推進計画〕」案について

1 策定の趣旨

「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、平成26年度から、おおむね5年間を計画期間として、「徳島県子どもの読書活動推進計画〔第三次推進計画〕」を策定し、子供の読書活動の推進に関する施策に取り組んできた。

平成30年4月に国において、第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定されたことから、第三次計画期間中の成果と課題を明らかにし、今後の施策の方向性と具体的な取組を示すものとして、「徳島県子どもの読書活動推進計画〔第四次推進計画〕」を策定する。

2 基本方針

子供の読書活動の意義や重要性について県民の理解と関心を高め、家庭や学校、地域の連携のもと県民総ぐるみで、子供が自主的に読書活動に取り組む環境の整備を進め、全ての子供が豊かな心をはぐくみ、生涯にわたり自ら学ぶことのできる力の育成を目指す。

3 主な内容

- ①子供の読書習慣の形成に向けた取組の充実について
 - ・子供の発達段階の特徴を踏まえた読書能力の育成
 - ・友人同士で本を薦め合うなど、読書の関心を高める取組の充実
- ②子供の読書活動を支える環境の充実について
 - ・多様な支援ニーズに対応できるボランティアの養成
 - ・学校図書館の図書資料の充実

4 計画期間

令和元年10月からおおむね5年間
(現計画：平成26年10月～令和元年10月)

5 策定に至る経過

平成30年 7月	子どもの読書活動推進協議会 (アンケート内容の検討)
9月	実証アンケートの実施
12月	子どもの読書活動推進協議会 (骨子案の検討)
平成31年 2月	子どもの読書活動推進協議会 (素案の検討①)
令和元年 5月	子どもの読書活動推進協議会 (素案の検討②)
6月	定例教育委員会部内協議 (計画素案) (6/10)
6月	県議会文教厚生委員会報告 (計画素案) (6/14)
6~7月	パブリックコメントの実施 (6/20~7/19)
8月	子どもの読書活動推進協議会 (パブリックコメント結果を踏まえての検討) (8/19)
9月	県議会文教厚生委員会報告 (計画案説明)
10月	定例教育委員会 (計画案付議・決定) 計画策定

徳島県子どもの読書活動推進計画〔第四次推進計画〕(素案) パブリックコメント実施状況について

1 パブリックコメントの実施状況

- 募集期間 令和元年6月20日～令和元年7月19日
- 募集結果 意見提出者23人, 意見件数29件

2 主な意見(抜粋)

- ・読書活動を支援する人の育成や子供の多様な背景に焦点を当てた素晴らしい計画。人の育成は予算も時間もかかる気の長い事業だと思うが子供の読書活動が一層推進するよう期待している。(50代 女性)
- ・ボランティアの人それぞれの支援の仕方もあると思うが、ボランティアの資質の向上や、できることの幅を広げていくことは大変良いことだと思う。(70代 男性)
- ・事例紹介が沢山掲載されていること。活動団体の一覧が掲載されていることが良かった。地元でどんな取組があるか、知る機会になる。(40代 女性)
- ・高校生が自分の将来について考えを深め、知的好奇心を満たしてくれるような書籍の配備に取り組み、魅力的な本に出会えるような環境にしてほしい。(40代 女性)
- ・小さな頃から本に触れるというのは、子供にとって大変重要なことだと思う。読む力、考える力だけでなく、たくさんの言葉と出会う機会にもなると思う。第四次推進計画においても、さまざまな取組があり、どれも子供のためになるものであると思った。(30代 女性)
- ・ブックリストは、今、子育てをしている世代にとって、参考になると思う。家事・育児で忙しく、本を選ぶ余裕すらもてない時期もある。そんな時に、ブックリストがあれば、家族で本を選べる楽しみにもつながると思う。(40代 女性)
- ・今回、発達段階ごとの効果的な取組の推進が示されていることに、新たな期待をしている。読書を通じて、その人の感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくことができるよう、しっかり読書の施策を展開していただきたい。(40代 女性)
- ・発達段階で読書量にも差がみられるが、この計画から子供たちにとって本がいつでも身近な存在であり続けることを期待している。(40代 男性)
- ・子供に対する読み聞かせ等精力的に実施されている。1点、本を媒介として子供と大人が対等に意見交換し、対等に話し合いができるような機会があると、子供、大人双方に刺激になり、読書の楽しみが広がると思うので、そのような機会の提供を希望する。(50代 男性)
- ・子どもの読書離れが進んでいると感じる。しかし、一定数の割合で読書好きな子供もいる。学校図書館では補えない、次世代の育成に繋がる『高校生のための読み聞かせ講習会』の計画には大いに期待している。(40代 女性)